

第 29 回基本政策部会 議事要旨

1 日 時

令和 5 年 1 月 23 日（月）16:00～17:30

2 場 所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室

3 出席者

(1) 委 員

白坂部会長、常田部会長代理、石田委員、臼田委員、片岡委員、栗原委員、中須賀委員、松井委員、南委員、山崎委員

(2) オブザーバ

宇宙航空研究開発機構（JAXA） 石井理事

(3) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 河西事務局長、坂口審議官、滝澤参事官

4 議事要旨（○：意見等）

宇宙事務局から資料 1 及び参考資料 1 に基づいて説明。委員から、以下の意見があった。

<次期宇宙基本計画の策定に向けた論点について>

- 我が国が世界に無い尖った技術を持ち、育てていくことが重要。また、世の中の流れをローリングして見ていき、継続的に調査しアップデートしていく組織が必要。
- 今後、世界的に宇宙産業が伸びていく中で、宇宙産業を日本の産業における付加価値の高い産業としてしっかりと位置付けていくべきではないか。また、産業競争力が大切だと宇宙基本計画にうたっても良いのではないか。
- 2030 年より先の姿や出口を見据えながら、今後 10 年間の計画を検討していくことが必要。また、足元の資金調達やそれより先の資金調達の在り方など、時間軸とファイナンスの手法の議論も必要。さらに、ルール作りやソフト面の支援なども含め少しでも社会実装を進めるべき。
- 我が国の勝ち筋の技術開発と同時に、国際的なルールづくりやフレームワークの整備を並行して進めるべき。
- 宇宙政策を検討するにあたって、宇宙だけでなく海洋、防災など様々な分野への広がりも考慮に入れ、横断的に官民で議論を実施することが必要。
- JAXA は実施すべき多くの課題を抱えており、JAXA のキャパシティの議論も必要。